

平成 27 年度 第 1 回成田市学校給食センター運営委員会議事録

- 1 日 時 平成 27 年 8 月 20 日（木）午後 3 時 00 分から
- 2 場 所 学校給食センター玉造分所会議室
- 3 出席者 1 号委員 渡邊委員・依知川委員
2 号委員 根本委員・櫻井委員
3 号委員 京増委員・三橋委員
事務局 関川教育長・伊藤部長・後藤所長・窺係長
古川栄養教諭・林専門員

4 議題 1. 学校給食費の改定について

5 議事（要旨、質疑）

議題 1. 学校給食費の改定について

事務局 現在の給食費につきましては、平成 16 年度に見直しを行って以来、昨年度に消費税率が 5%から 8%に改定された時に、増税分だけ値上げした以外は 10 年以上据え置いています。昨今の食材価格の上昇傾向に対しましても、栄養士が献立内容の工夫や食材購入の精査などの努力をして給食費を維持していますが、大変厳しい状況です。昨年 12 月の第 2 回運営委員会でも報告させていただきましたが、学校給食センターとしましては、来年 4 月からの給食費について改定することが必要と考えております。

学校給食法の規定により、給食の食材費は保護者の負担となっているため、集めた給食費を原資に肉や野菜などの食材を購入しています。資料に、県内他市の給食費を載せていますが、成田市の給食費については、もとも

と安い水準にあります。食材費の余裕がなかったところに、食材費の高騰が追い打ちをかけており、デザート回数を減らすことや、牛肉から豚肉、豚肉から鶏肉になどと、安価な材料に変更することなども限度にきているところではあります。

具体的な給食費の値上げ額については、食材価格の値上がりデータを精査した結果、15%の値上げが必要という結果になりました。今回はこの15パーセントの値上げという案について、委員の皆様からご意見をいただきたいと思っております。

(以下、配付資料に沿って説明する。)

教育長 子供たちに人気のあるメニュー、例えばカレーなどについて、過去にこれだけ金額がかかっていたが、今はこれぐらいの金額になっている、といった事例があったら、栄養士さんの立場から説明していただけますか。

栄養士 カレーの献立について、資料にしめされている「バターコーンかまぼこ」、これは練り物製品のおかずなんですけど、カレーの時には、ご飯、牛乳、おかずにカレー、サラダ、あとつけられる時にはデザートもついていたと思いますが、現在では、金額が厳しいので、現在は付かなくなっているパターンが多いです。

また、カレーの肉については、現在はビーフカレーが出ることはまずなくなっていて、ポークかチキンです。

子どもたちから、牛肉がいいと直接言われることはないんですが、バラエティー豊富な給食ということであれば、毎回ポークカレーというのではなく、牛肉など質のいいものも入れてあげたいという気持ちは持っています。

す。

委員 同じメニューでも、色々と食材を変えるという努力をされているのですね。

子どもたちにすると、1品おかずが減るとするのは寂しい気持ちは持ちますね。例えば、15%上がることで、今出た「バターコーンかまぼこ」というのはまた再開可能なんではないでしょうか。それとも、15%上げても現状維持がやっとなのか、減ったメニューを元に戻せる内容なのではないでしょうか。月々の献立内容で変わってくるのかもしれませんが、15%の重みづけがどうかということですよ。

栄養士 やはり、食材料費が少ないので、献立を作成するのに苦労しています。例えば、野菜で薬物の地元の旬の食材を使いたいところを安価なものに変えたり、お味噌汁のダシも、天然ダシを使って子どもたちに食べさせたいところを市販の顆粒のものを使っており、色々な思いもありますが、給食費の制限がありますから、毎日の献立作成に苦しい状況です。15%という値については、現状を維持していくので精いっぱいな金額というのが、栄養士の立場から見た感想です。金額につきましては、現状の日額240円に値上がり率15%を掛けると276円になると思うのですが、6円切り捨てて270円になっていることについて、皆さんどう思っているのかということをお聞きしたいと思います。

所長 栄養士さんとしては、給食費を1円でも切り捨てるということは耐え難いと思うのですが、県内の他市の状況を見ますと、仮に日額276円すると県内でも成田市の金額が突出した金額になることになります。他市におい

でも、給食費の値上げの動きがあるところもあるのですが、まだ具体的な数字として表れてきていませんので、成田市が他市に先駆けて改定するとするならば、270円とするのが適当と考えています。

委員 例えば、もやしとか人参とかがサラダで使われているのを見ると、安価な材料を上手に組み合わせているんだなという、栄養士の努力を日々感じています。平成26年4月に消費税が上がった時に、給食費も少し上がりましたけれども、この程度の値上げでいいのかなという感じを持ち、給食を作っている方々も苦勞してるのではないかという思いもしましたので、今回の値上げは仕方ないというように思います。

委員 作る側の創意工夫にも限界があると思います。

委員 結果からいうと、値上げには賛成です。給食を教育のひとつとして考えると、ビタミンとかミネラルとか、同じビタミンBでも、鶏肉からとれるものと豚肉からとれるものでは違うと思っています。間違っていたら訂正します。それと、今、小学生、中学生で、特に学校が終わると塾等に通われて、夕食まで何も食べない子どもさんもいらっしゃるということになりますと、給食が、1日のうちの1/3の栄養ということを考えれば、値上げは仕方ないのかなと思います。

あと、成田市が一番最初に値上げをする、一番高くなるというのは、理由のひとつということではないのですが、高くなってもいいのかなと思っています。成田市ではこれだけいいものを出しているんだということ言えば、保護者には負担になっても、子どもの安全面からすると、それが何ん千円という金額ではないので、値上げについては仕方ないのではない

かなと考えます。

委員 日によって給食のメニューが、今日は少ないのかなということも感じられますが、子どもたちの十分な栄養を考えますと、値上げは仕方ないのかなというように思います。

委員 成田市の給食は昔から比べると良くなっていると思います。

10年間も値上げしないで、よくやって来られたなと思います。味もよくなっていると思います。子どもたちには、学校教育目標でたくましい体、強い体というのがありますので、安心・安全が担保されるためには仕方ないと思いますし、個人的な意見としては、逆に 270 円でいいのかな、276 円じゃなくていいのかな、今までと同じものを維持するだけではいけないのかなとも思いますが、日頃の給食センターには感謝しています。あと、うちの学校は残菜率が 15%くらいあるんですが、これを減らしていこうとも思っています。

委員 うちの子どもも本城の給食センターにお世話になっています。保護者としては給食費を値上げしてほしくないという思いはあります。友達の子や、子どもたちから話を聞くと、今日の給食はあんまり…と聞くこともあります。ご飯だけ食べて、あとは残しちゃった、おかずを食べなかったということを知ることがこのところ多いと思います。親としては、栄養のことを考えれば心配ですし、栄養士さんが一生懸命考えて作ってくれた給食を食べてないということも気になるんです。これは本城だけかもしれませんが、子どもたちのくちと給食の味があっていないんじゃないのかなというのが、子どもたちから最近聞いて思っています。

給食費の値上げについては、保護者としては嫌ですが、子どもたちが、今日は給食おいしかったよ、おかわりしたかったのにできなかったよ、という声も聞きたいので、270円というのではなく、個人的にはもう少し上げてもいいのではないかなと思っています。

委員 給食については、毎日300円前後で、バランスのとれた食事を提供していただいて、本当にありがたいなと感謝しています。今、外で、300円前後でバラエティに富んだ食事などできないので、給食のありがたさがよく分かります。保護者の方も、食材の値上がりなどで、このくらいの給食費が必要なんですということを、きちんと説明すれば、自分の子どものくちに入るものなので、値上げは仕方ないのかなと思います。ただ、根拠をきちんと、食材がこのくらい値上がりしているということをきちんと言えば、切り捨てなくても、必要なものだったら、保護者の皆さんは払うと思います。

給食センターには、努力してもらっているというのは分かっています。

議長 ありがとうございます。委員の皆様については、値上げについては、だいたい妥当性を持って了承して下さっていらっしゃるようです。

色々な意見が出ましたが、事務局の方から何か意見はありませんか。

教育長 委員の皆様からは、色々な意見を頂きありがとうございました。

ご意見を伺っていると、270円や276円といった意見がありましたけれども、私としましては、保護者の方々にも色々な考え方を持たれる方がいらっしゃいますので、出来るだけ早めに、給食費はこういう状況ですという、詳しい具体的なものをお知らせして、こういう理由で、いつから食材費の

値上げをさせて頂きたいということを説明することが必要だと思っていますので、丁寧な説明をしていくということが絶対必要なことだと考えていますので、そのことにつきましては、ぜひ、やらせて頂きたいと思っています。

議長 保護者の方々につきましては、そのことについては真摯にみていると思います。この資料を見ていると説得力のある内容となっていますし、決して理不尽な値上げではないと思っています。保護者の方に対しては、何かのかたちで配付して、ご理解をいただくということが大切だと思っています。ただ、ここまで細かい数字の羅列でなくてもいいのではないかなと思っています。例えば、カレーでしたら、セットの献立で、何年度にかかった金額と比べて、食材費の値上げでこのくらいの費用がかかるようになったんではないかというような子どもたちの人気メニューのいくつかをリストなどにすればいいのかなと思っています。

今ありました、保護者の方々にこういう情報を提示するということについては、委員の皆様どうでしょうか。

皆さんの納得のもとに値上げをするというのが一番いいことだと思いますので、そのへんのところをよろしくお願ひしたいと思います。

事務局 なるべく簡潔で分かりやすい説明文をつくりまして、配付するなど周知の方法を考えてまいります。

議長 だいたい、値上げの同意が得られたら、いつからの値上げを検討されているのでしょうか。

事務局 来年4月からを予定しています。

議長 それでは時間的には、まだ大丈夫ですね。

事務局 今後半年をかけて、周知していきたいと思っています。

委員 いつくらいまでにとというのはありますか。

事務局 保護者会などもありますから、そこで説明したいと思っています。

議長 来年度の予算のこともありますね。予算というと秋ごろですね。

事務局 10月くらいです。

議長 それであれば、方向性を持って夏休み明け早々にでも、とにかく一度情報をお知らせするための資料を配付したうえで、保護者会を通じて理解を重ねるようなかたちでお願いしたいと思います。

 他にご意見いかがでしょうか。

委員 給食費の未納の問題があると思いますが、成田市はそれで困っているということはないのでしょうか。

事務局 給食費については、かなりの未納がありまして、給食センターの職員が積極的に臨戸徴収を実施して、各家庭に訪問して、お支払いいただくようお願いをしています。給食費については、税金のような強制権がないものです。また、給食費が食材購入費になっていますので、お支払いくださるよう丁寧に説明しております。

教育長 徴収方法としましては、児童手当から引き落とす方法もあります。これは、必ず保護者の同意が必要ですので、同意を頂いたうえで行っています。

事務局 現年度といたしますか、1年が経過した未納者の割合が、昨年度の場合2.5%ほどの未納がありました。

教育長 それは全額ということではなくて、1食でも未納であった場合の2.5%とい

うことですか。

事務局 全体の金額に対して2.5%の未納者がいたということです。もともとの給食費の額自体が、5億5千万円くらいの規模がありますので、2.5%でもかなりの金額になってしまいます。

部長 そのことにつきましては、徴収した分を、給食を作るのに充てているという、実際にはそういう意味あいにはなるのですが、作る方のお金と徴収するお金は別のお財布にしていますので、作るほうはきちんと、1万人いれば1万人分の予算を持っていて、それで作ります。その結果として、給食費を支払わない人がいれば、その方の分は未納となっています。

教育長 先ほどの2.5%というのは過去の滞納分も合わせて2.5%ということですか、それとも、その年度で新規に2.5%ということですか。

事務局 そうです、その年度が終わった段階での率ですが、そこから徴収を通じてもまた何分のいくつかになります。

教育長 純粹に、今の賄材料費では、栄養士が目標のものを作るのが難しいということを述べたほうが良いと思います。

未納については、多くの例で言うと、一時的に家庭が苦しい時があって、給食費が払えなくなる。給食費の場合は、特別に財布からお金を出すということではなく、引き落としができなくなるということがあって、そのまま過ぎてしまい、そうすると次の月もその次も口座に入れないことがあると。そうすると、子どもさんが2人、3人という場合は、もう膨大な額になってしまうということがあります。そういうことで、気づいても、もう次から払うことが出来ないくらいの金額になってしまって、そのままずるず

るといってしまうケースが多いと思います。そのように、特定の人が陥りやすいので、そういうことがないように、給食センターでは、所長をはじめ職員が臨戸徴収などに積極的に出ているということです。

事務局　　昨年度は、臨戸徴収等で約 1000 万円ほどの成果が出ておりますが、それでも滞納額の方が多くて、年間で増加金額として、やっと 500 万円を切ったほどの状況です。今年は、これをもっと減らして、増加がゼロになるくらいまでもっていききたいと希望ですが思っています。

委員　　昔は、学校で給食費を集めていましたね。未納者には家庭訪問などをしていました。

教育長　　佐倉市のように自校給食ですと、各学校で改定されています。

栄養士　　未納があるとその分食材費を下げています。

教育長　　食材にストレートに影響が出るわけです。そういう切実感がないとなかなか難しい問題です。

議長　　それでは、今回の給食費の値上げにつきましては、意見の方は出尽くしていると思うのですが、追加発言はありますかでしょうか。

それでは、意見の方も出尽くしたようですので、今回の議題の給食費の値上げにつきましては、賛成であるということです。ただし、端数等の扱いについては、事務局で検討してください。また、それに合わせまして、保護者に周知するようなかたちでの資料を早めに配付し、意見を集約していくということで、今回の議事の結論としたいと思えます。

6 傍聴 2人